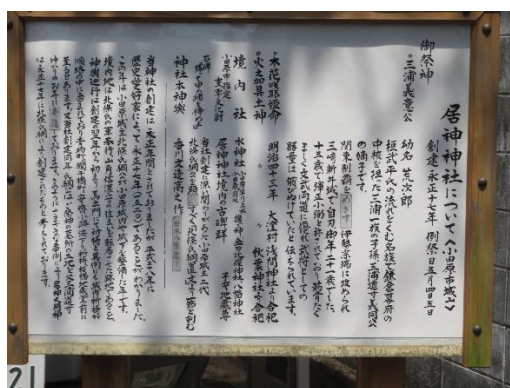


居神神社 小田原市城山 4丁目 23-29

主祭神は三浦義意公で幼名荒次郎。同氏は桓武平氏の流れをくむ名族で鎌倉幕府の中核を担い三浦半島を本拠に相模國を治めた三浦氏の最後の武将。しかし、関東制覇を目指す伊勢宗端(北条早雲)に攻められ、永正 13(1516)年 7月 11日、三浦半島の三崎新井城にて自刃、御年 21 歳の若武者でした。永正 17(1520)年に小田原城主北條氏綱公の強い思いや意向により居神大明神として祀られたと考えられています。

御祭神の義意公は陸奥守従四位下三浦道寸義同公の嫡子で、弟の時綱は安房正木郷に逃れ、その曾孫(於万の方)は徳川家康公との間に紀伊藩と水戸藩の祖を生み、八代將軍吉宗公から幕末の慶喜公まで時綱のながれをくむ人たちにより受け継がれた。

そして氏綱公を顕彰すべく同氏の置文の一説を刻み石碑を建立した。(旅コト資料、説明版)



同神社の説明版



有名な同神社の碑



本殿



厄除けの不動明王



急な参道